

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券		
信 託 期 間	無期限		
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	1. ダイワ外国債券先進国マザーファンドの受益証券 2. ダイワ外国債券新興国マザーファンドの受益証券	
	ダイワ外国債券先進国マザーファンド	海外の債券	
	ダイワ外国債券新興国マザーファンド		
ベビーファンドの運用方法	①主としてマザーファンドの受益証券を通じて、海外の債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各マザーファンドの受益証券の組入比率は、信託財産の純資産総額の50％を中心に、40％程度から60％程度の範囲内とします。組入比率の合計は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90％程度以上に維持することを基本とします。 ③各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨および新興国通貨の中からそれぞれ3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ④投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。		
組 入 制 限	ダイワ外国債券先進国マザーファンドの株式組入上限比率 ダイワ外国債券新興国マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10％以下	
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ外国債券ファンド （毎月分配型） ーダイワスピリットー

運用報告書（全体版）

第102期	（決算日	2017年9月11日）
第103期	（決算日	2017年10月10日）
第104期	（決算日	2017年11月10日）
第105期	（決算日	2017年12月11日）
第106期	（決算日	2018年1月10日）
第107期	（決算日	2018年2月13日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）ーダイワスピリットー」は、このたび、第107期の決算を行ないました。

ここに、第102期～第107期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		J Pモルガン GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率	純資産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%		%	%	%	百万円
78期末(2015年9月10日)	6,650	50	△ 8.9	15,570	△ 2.2	16,401	△ 9.1	92.1	△ 5.7	57,868
79期末(2015年10月13日)	6,787	50	2.8	15,698	0.8	17,296	5.5	91.9	△ 9.1	58,625
80期末(2015年11月10日)	6,742	50	0.1	15,538	△ 1.0	17,171	△ 0.7	93.6	—	57,708
81期末(2015年12月10日)	6,674	50	△ 0.3	15,683	0.9	16,793	△ 2.2	94.1	△ 4.6	56,473
82期末(2016年1月12日)	6,082	50	△ 8.1	14,948	△ 4.7	15,571	△ 7.3	93.5	△ 9.9	50,874
83期末(2016年2月10日)	6,093	50	1.0	15,179	1.5	15,706	0.9	93.8	△10.0	50,369
84期末(2016年3月10日)	6,146	50	1.7	14,765	△ 2.7	16,277	3.6	92.1	△ 2.9	50,548
85期末(2016年4月11日)	5,931	50	△ 2.7	14,568	△ 1.3	16,136	△ 0.9	93.2	—	47,764
86期末(2016年5月10日)	5,837	50	△ 0.7	14,528	△ 0.3	16,165	0.2	94.0	—	46,256
87期末(2016年6月10日)	5,818	50	0.5	14,392	△ 0.9	16,300	0.8	93.8	—	45,544
88期末(2016年7月11日)	5,506	50	△ 4.5	13,617	△ 5.4	15,544	△ 4.6	95.2	—	42,708
89期末(2016年8月10日)	5,582	50	2.3	13,848	1.7	16,088	3.5	95.4	—	42,678
90期末(2016年9月12日)	5,471	50	△ 1.1	13,897	0.3	16,142	0.3	95.2	—	41,438
91期末(2016年10月11日)	5,494	50	1.3	13,857	△ 0.3	16,490	2.2	96.7	—	41,034
92期末(2016年11月10日)	5,439	30	△ 0.5	13,671	△ 1.3	16,269	△ 1.3	95.8	—	40,070
93期末(2016年12月12日)	5,657	30	4.6	14,545	6.4	17,088	5.0	95.8	—	40,641
94期末(2017年1月10日)	5,547	30	△ 1.4	14,754	1.4	17,296	1.2	96.4	△ 7.0	39,185
95期末(2017年2月10日)	5,588	30	1.3	14,411	△ 2.3	17,509	1.2	95.8	△ 6.9	38,791
96期末(2017年3月10日)	5,584	30	0.5	14,454	0.3	17,638	0.7	96.0	△ 7.0	38,303
97期末(2017年4月10日)	5,476	30	△ 1.4	14,183	△ 1.9	17,627	△ 0.1	87.7	—	37,052
98期末(2017年5月10日)	5,562	30	2.1	14,756	4.0	18,201	3.3	95.9	—	36,981
99期末(2017年6月12日)	5,598	30	1.2	14,673	△ 0.6	18,195	△ 0.0	96.2	—	36,381
100期末(2017年7月10日)	5,713	30	2.6	15,061	2.6	18,511	1.7	95.8	—	36,683
101期末(2017年8月10日)	5,623	30	△ 1.1	14,958	△ 0.7	18,426	△ 0.5	95.5	—	35,564
102期末(2017年9月11日)	5,687	30	1.7	14,977	0.1	18,838	2.2	96.4	—	35,445
103期末(2017年10月10日)	5,549	30	△ 1.9	15,248	1.8	18,888	0.3	97.0	—	34,008
104期末(2017年11月10日)	5,398	30	△ 2.2	15,408	1.0	18,734	△ 0.8	96.0	—	32,345
105期末(2017年12月11日)	5,413	30	0.8	15,534	0.8	19,059	1.7	96.1	—	31,747
106期末(2018年1月10日)	5,526	30	2.6	15,393	△ 0.9	19,552	2.6	95.4	—	31,927
107期末(2018年2月13日)	5,376	30	△ 2.2	14,943	△ 2.9	19,126	△ 2.2	95.6	—	30,713

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) J Pモルガン GBI-EMグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

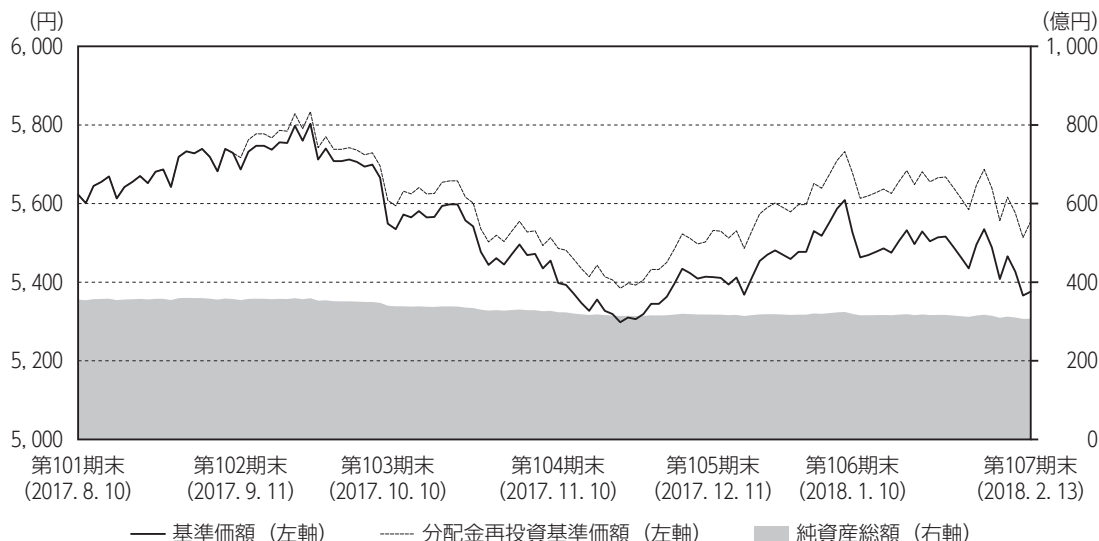
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

■ 基準価額・騰落率

第102期首：5,623円

第107期末：5,376円（既払分配金180円）

騰 落 率：△1.2%（分配金再投資ベース）

■ 組入ファンドの当作成期間中の騰落率と当期間末の組入比率

組入ファンド	騰落率	比率
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	△1.6%	44.3%
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	0.2%	55.2%

■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドの受益証券を通じて、先進国および新興国の債券に投資した結果、投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因となりましたが、債券価格の下落や投資している通貨が対円で下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

	年 月 日	基 準 価 額		FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)		JPMorgan Global Diversified GBI-EM (円換算)		公 社 債 組入比率	債 券 先物比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率		
第102期	(期首)2017年 8 月10日	5,623	—	14,958	—	18,426	—	95.5	—
	8 月末	5,733	2.0	15,136	1.2	18,832	2.2	95.7	—
	(期末)2017年 9 月11日	5,717	1.7	14,977	0.1	18,838	2.2	96.4	—
第103期	(期首)2017年 9 月11日	5,687	—	14,977	—	18,838	—	96.4	—
	9 月末	5,708	0.4	15,321	2.3	19,096	1.4	97.0	—
	(期末)2017年10月10日	5,579	△ 1.9	15,248	1.8	18,888	0.3	97.0	—
第104期	(期首)2017年10月10日	5,549	—	15,248	—	18,888	—	97.0	—
	10 月末	5,445	△ 1.9	15,327	0.5	18,743	△ 0.8	96.2	—
	(期末)2017年11月10日	5,428	△ 2.2	15,408	1.0	18,734	△ 0.8	96.0	—
第105期	(期首)2017年11月10日	5,398	—	15,408	—	18,734	—	96.0	—
	11 月末	5,345	△ 1.0	15,318	△ 0.6	18,847	0.6	95.9	—
	(期末)2017年12月11日	5,443	0.8	15,534	0.8	19,059	1.7	96.1	—
第106期	(期首)2017年12月11日	5,413	—	15,534	—	19,059	—	96.1	—
	12 月末	5,518	1.9	15,507	△ 0.2	19,340	1.5	95.7	—
	(期末)2018年 1 月10日	5,556	2.6	15,393	△ 0.9	19,552	2.6	95.4	—
第107期	(期首)2018年 1 月10日	5,526	—	15,393	—	19,552	—	95.4	—
	1 月 末	5,435	△ 1.6	15,146	△ 1.6	19,371	△ 0.9	95.4	—
	(期末)2018年 2 月13日	5,406	△ 2.2	14,943	△ 2.9	19,126	△ 2.2	95.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 8. 11 ～ 2018. 2. 13)

海外債券市況

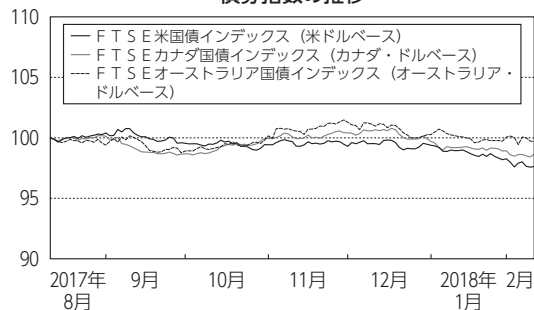
・先進国

投資対象国の債券金利は上昇（債券価格は下落）しました。第102期首より、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されたことなどが金利低下の材料となりました。2017年9月に入ると、FOMC（米国連邦公開市場委員会）で2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから金利は上昇しました。12月以降は、米国の税制改革法が成立したことを背景に市場のリスク選好度が強まったことや、主要先進国において金融政策の正常化観測が高まったことなどから、金利はさらに上昇しました。

・新興国

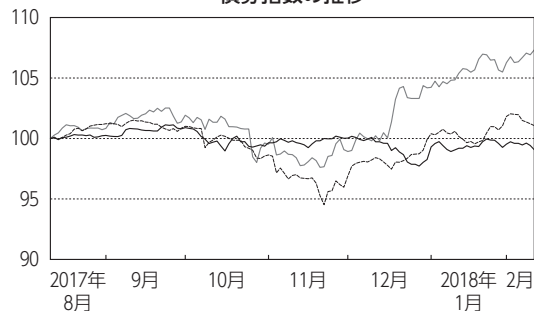
新興国債券市場では、各国の個別要因が相場を動かす材料となりました。トルコでは、通貨安によるインフレ懸念や欧米との関係悪化が懸念され金利は上昇しました。メキシコでは、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の進ちょくが遅れていたことや、最悪の場合は米国が突然NAFTAから離脱する懸念などを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、中期財政政策声明において、財政赤字や政府債務比率の見通しが悪化したことなどを背景に金利が上昇する局面もありましたが、与党ANC（アフリカ民族会議）の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利するとの期待を背景に、金利は低下しました。

債券指数の推移



(指数は当作成期間期首を100として指数化しています。)

債券指数の推移



— JPMorgan GBI-EMメキシコ（メキシコ・ペソベース）
— JPMorgan GBI-EM南アフリカ（南アフリカ・ランドベース）
— JPMorgan GBI-EMトルコ（トルコ・リラベース）

(指数は当作成期間期首を100として指数化しています。)

■為替相場

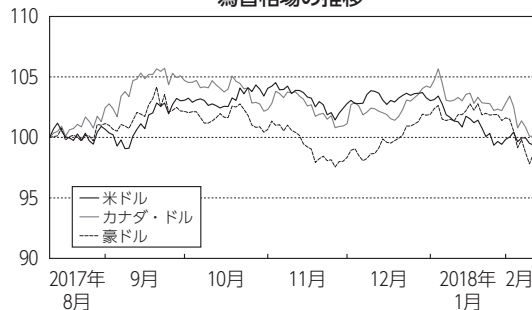
・先進国

投資対象通貨の対円相場は下落（円高）しました。第102期首より、北朝鮮の情勢への警戒感が和らぎ市場のリスク回避姿勢が後退したことや、FOMCで2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから、円安傾向となりました。2017年10月から年末にかけては、米ドルはおおむね横ばいで推移しました。また豪ドルやカナダ・ドルは、資源価格や市場のリスク環境に左右されて動く場面も見られましたが、おおむね横ばいにとどまりました。2018年に入ると、米国のムニニューシン財務長官による米ドル安容認発言から米ドルが下落しました。また、各国の株価が急落し市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円は上昇傾向となりました。

・新興国

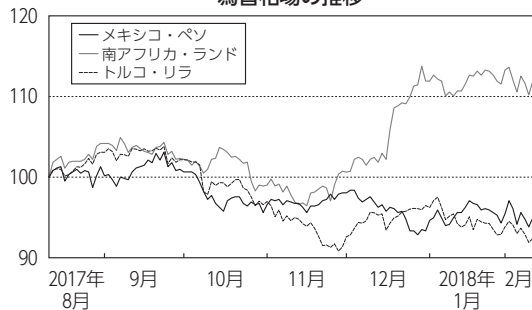
新興国通貨の対円為替相場は、北朝鮮の地政学リスクが意識され円高が進展する局面もあったものの、各国の個別要因が相場を左右する材料となりました。トルコ・リラは、欧米との関係悪化などが懸念され対円で下落しました。メキシコ・ペソについては、NAFTA再交渉に対する懸念などを背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドについては、財政悪化懸念で下落する局面があったものの、改革派とみられるラマポーザ氏が与党党首選挙で勝利するとの思惑から対円で上昇しました。

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期間期首を100として指数化しています。)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期間期首を100として指数化しています。)

前作成期間末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40％程度から60％程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90％程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

ポートフォリオについて

(2017. 8. 11 ～ 2018. 2. 13)

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

当作成期間中のマザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持しました。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。

通貨配分につきましては、基本通貨配分（豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

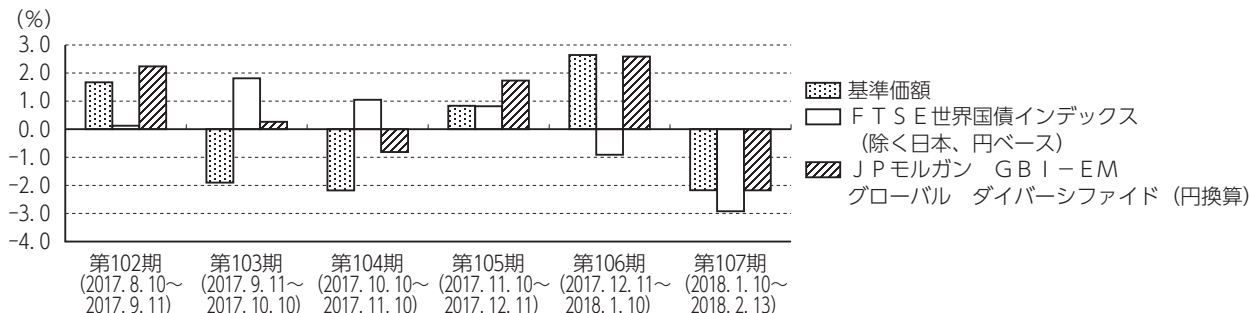
通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

第102期～第107期の1万口当り分配金（税込み）は、それぞれ30円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期 2017年 8 月11日 ～2017年 9 月11日	第103期 2017年 9 月12日 ～2017年10月10日	第104期 2017年10月11日 ～2017年11月10日	第105期 2017年11月11日 ～2017年12月11日	第106期 2017年12月12日 ～2018年 1 月10日	第107期 2018年 1 月11日 ～2018年 2 月13日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	30	30	30	30
対基準価額比率（％）	0.52	0.54	0.55	0.55	0.54	0.55
当期の収益（円）	27	20	21	24	27	23
当期の収益以外（円）	2	9	8	5	2	6
翌期繰越分配対象額（円）	270	261	253	247	244	238

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	27.62円	20.78円	21.54円	24.51円	27.40円	23.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	54.06	54.26	54.48	54.65	54.88	55.03
(d) 分配準備積立金	218.97	216.41	206.99	198.39	192.69	189.96
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	300.66	291.46	283.03	277.55	274.97	268.46
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	270.66	261.46	253.03	247.55	244.97	238.46

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ外国債券先進国マザーファンド」および「ダイワ外国債券新興国マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

各マザーファンドの組入比率については、各国の債券市場の金利や経済のファンダメンタルズなどを参考に、それぞれ40%程度から60%程度の範囲内で変動させ、組入比率の合計は90%程度以上に維持します。

■ダイワ外国債券先進国マザーファンド

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ダイワ外国債券新興国マザーファンド

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

1万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2017. 8. 11～2018. 2. 13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0. 720%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5, 538円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0. 283)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0. 416)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 022)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0. 033	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 027)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 003)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	42	0. 753	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ外国債券ファンド（毎月分配型）－ダイワスピリット－

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年8月11日から2018年2月13日まで)

決 算 期	第 102 期 ～ 第 107 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	—	—	1,236,103	2,134,055
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	—	—	1,850,421	2,543,227

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第102期～第107期）中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	第101期末	第 107 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	9,402,945	8,166,841	13,610,042
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	14,132,082	12,281,661	16,954,833

(注) 単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年9月11日)、(2017年10月10日)、(2017年11月10日)、(2017年12月11日)、(2018年1月10日)、(2018年2月13日)現在

項 目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
(A) 資産	35,763,026,246円	34,271,027,935円	32,614,705,815円	32,020,240,664円	32,178,613,235円	30,937,005,445円
コール・ローン等	401,304,376	388,414,187	374,518,219	363,605,170	353,922,325	361,197,546
ダイワ外国債券先進国マザーファンド（評価額）	15,887,735,903	15,511,865,553	14,713,047,523	14,124,471,323	14,161,303,930	13,610,042,099
ダイワ外国債券新興国マザーファンド（評価額）	19,387,465,623	18,331,066,213	17,472,184,106	17,470,671,174	17,614,140,458	16,954,833,684
未収入金	86,520,344	39,681,982	54,955,967	61,492,997	49,246,522	10,932,116
(B) 負債	317,806,406	262,181,151	269,581,175	272,678,822	251,449,552	223,780,087
未払収益分配金	186,964,736	183,873,646	179,749,284	175,936,213	173,320,919	171,388,306
未払解約金	86,707,430	38,479,719	49,534,137	58,178,497	40,457,494	10,129,939
未払信託報酬	43,946,117	39,470,408	39,762,157	37,848,868	36,777,680	41,167,699
その他未払費用	188,123	357,378	535,597	715,244	893,459	1,094,143
(C) 純資産総額（A－B）	35,445,219,840	34,008,846,784	32,345,124,640	31,747,561,842	31,927,163,683	30,713,225,358
元本	56,089,420,943	55,162,093,839	53,924,785,254	52,780,864,110	51,996,275,883	51,416,492,042
次期繰越損益金	△20,644,201,103	△21,153,247,055	△21,579,660,614	△21,033,302,268	△20,069,112,200	△20,703,266,684
(D) 受益権総口数	62,321,578,827口	61,291,215,379口	59,916,428,063口	58,645,404,569口	57,773,639,872口	57,129,435,605口
1万口当り基準価額（C／D）	5,687円	5,549円	5,398円	5,413円	5,526円	5,376円

* 第101期末における元本額は56,927,801,002円、当作成期間（第102期～第107期）中における追加設定元本額は281,676,127円、同解約元本額は5,792,985,087円です。

* 第107期末の計算口数当りの純資産額は5,376円です。

* 第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,703,266,684円です。

■投資信託財産の構成

2018年2月13日現在

項 目	第 107 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ外国債券先進国マザーファンド	13,610,042	44.0
ダイワ外国債券新興国マザーファンド	16,954,833	54.8
コール・ローン等、その他	372,129	1.2
投資信託財産総額	30,937,005	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.73円、1カナダ・ドル＝86.36円、1オーストラリア・ドル＝85.40円、1トルコ・リラ＝28.63円、1メキシコ・ペソ＝5.84円、1南アフリカ・ランド＝9.11円です。

(注3) ダイワ外国債券先進国マザーファンドにおいて、第107期末における外貨建純資産（13,465,690千円）の投資信託財産総額（13,661,914千円）に対する比率は、98.6%です。
ダイワ外国債券新興国マザーファンドにおいて、第107期末における外貨建純資産（16,833,693千円）の投資信託財産総額（17,010,360千円）に対する比率は、99.0%です。

■損益の状況

第102期 自 2017年 8月11日 至 2017年 9月11日 第104期 自 2017年10月11日 至 2017年11月10日 第106期 自 2017年12月12日 至 2018年 1月10日
 第103期 自 2017年 9月12日 至 2017年10月10日 第105期 自 2017年11月11日 至 2017年12月11日 第107期 自 2018年 1月11日 至 2018年 2月13日

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(A) 配当等収益	△ 11,038円	△ 8,968円	△ 7,914円	△ 9,170円	△ 7,807円	△ 8,122円
受取利息	101	78	58	88	40	42
支払利息	△ 11,139	△ 9,046	△ 7,972	△ 9,258	△ 7,847	△ 8,164
(B) 有価証券売買損益	635,829,942	△ 626,857,201	△ 681,118,535	302,577,356	861,684,901	△ 645,160,759
売買益	642,548,622	126,071,439	93,690,108	439,021,625	866,762,877	4,541,121
売買損	△ 6,718,680	△ 752,928,640	△ 774,808,643	△ 136,444,269	△ 5,077,976	△ 649,701,880
(C) 信託報酬等	△ 44,134,240	△ 39,639,663	△ 39,940,376	△ 38,028,515	△ 36,955,895	△ 41,368,383
(D) 当期損益金 (A + B + C)	591,684,664	△ 666,505,832	△ 721,066,825	264,539,671	824,721,199	△ 686,537,264
(E) 前期繰越損益金	△ 17,906,320,611	△ 17,197,234,960	△ 17,625,278,432	△ 18,118,975,299	△ 17,743,217,899	△ 16,889,094,247
(F) 追加信託差損益金	△ 3,142,600,420	△ 3,105,632,617	△ 3,053,566,073	△ 3,002,930,427	△ 2,977,294,581	△ 2,956,246,867
(配当等相当額)	(336,918,624)	(332,592,637)	(326,471,196)	(320,535,104)	(317,078,847)	(314,402,116)
(売買損益相当額)	(△ 3,479,519,044)	(△ 3,438,225,254)	(△ 3,380,037,269)	(△ 3,323,465,531)	(△ 3,294,373,428)	(△ 3,270,648,983)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 20,457,236,367	△ 20,969,373,409	△ 21,399,911,330	△ 20,857,366,055	△ 19,895,791,281	△ 20,531,878,378
(H) 収益分配金	△ 186,964,736	△ 183,873,646	△ 179,749,284	△ 175,936,213	△ 173,320,919	△ 171,388,306
次期繰越損益金 (G + H)	△ 20,644,201,103	△ 21,153,247,055	△ 21,579,660,614	△ 21,033,302,268	△ 20,069,112,200	△ 20,703,266,684
追加信託差損益金	△ 3,142,600,420	△ 3,105,632,617	△ 3,053,566,073	△ 3,002,930,427	△ 2,977,294,581	△ 2,956,246,867
(配当等相当額)	(336,918,624)	(332,592,637)	(326,471,196)	(320,535,104)	(317,078,847)	(314,402,116)
(売買損益相当額)	(△ 3,479,519,044)	(△ 3,438,225,254)	(△ 3,380,037,269)	(△ 3,323,465,531)	(△ 3,294,373,428)	(△ 3,270,648,983)
分配準備積立金	1,349,899,101	1,269,960,220	1,189,610,407	1,131,289,705	1,098,258,469	1,047,941,260
繰越損益金	△ 18,851,499,784	△ 19,317,574,658	△ 19,715,704,948	△ 19,161,661,546	△ 18,190,076,088	△ 18,794,961,077

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	172,165,491円	127,410,504円	129,118,075円	143,757,734円	158,306,741円	134,097,371円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	336,918,624	332,592,637	326,471,196	320,535,104	317,078,847	314,402,116
(d) 分配準備積立金	1,364,698,346	1,326,423,362	1,240,241,616	1,163,468,184	1,113,272,647	1,085,232,195
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,873,782,461	1,786,426,503	1,695,830,887	1,627,761,022	1,588,658,235	1,533,731,682
(f) 分配金	186,964,736	183,873,646	179,749,284	175,936,213	173,320,919	171,388,306
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,686,817,725	1,602,552,857	1,516,081,603	1,451,824,809	1,415,337,316	1,362,343,376
(h) 受益権総口数	62,321,578,827口	61,291,215,379口	59,916,428,063口	58,645,404,569口	57,773,639,872口	57,129,435,605口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	30円	30円	30円	30円	30円	30円
（単 価）	(5, 687円)	(5, 549円)	(5, 398円)	(5, 413円)	(5, 526円)	(5, 376円)

●〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

FTSE 米国債インデックス（米ドルベース）、FTSE カナダ国債インデックス（カナダ・ドルベース）、FTSE オーストラリア国債インデックス（オーストラリア・ドルベース）は、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2018年2月13日)

(計算期間 2017年8月11日～2018年2月13日)

ダイワ外国債券先進国マザーファンドの第18期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で先進国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

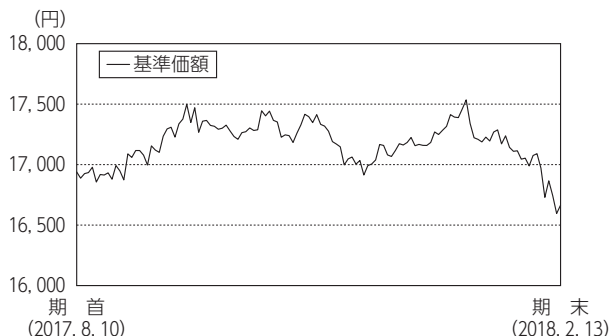
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		FTSE 世界国債 インデックス (除く日本、円ベース)		公 社 債 債 券 組入比率 先物比率	
	騰落率	(参考指数)	騰落率			
	円	%	%	%	%	%
(期首) 2017年 8月10日	16,939	—	14,958	—	96.4	—
8月末	17,059	0.7	15,136	1.2	96.2	—
9月末	17,324	2.3	15,321	2.4	97.8	—
10月末	17,183	1.4	15,327	2.5	97.3	—
11月末	17,005	0.4	15,318	2.4	97.3	—
12月末	17,393	2.7	15,507	3.7	95.1	—
2018年 1月末	16,989	0.3	15,146	1.3	94.9	—
(期末) 2018年 2月13日	16,665	△ 1.6	14,943	△ 0.1	95.8	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) の原データに基づき、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。

(注5) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：16,939円 期末：16,665円 騰落率：△1.6%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入が基準価額にプラス要因となった一方で、投資している通貨が円に対して下落したことや投資している債券の価格下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○先進国債券市況

投資対象国の債券金利は上昇 (債券価格は下落) しました。期首より、北朝鮮に関する地政学リスクが意識されたことなどが金利低下の材料となりました。2017年9月に入ると、FOMC (米国連邦公開市場委員会) で2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから金利は上昇しました。12月以降は、米国の税制改革法が成立したことを背景に市場のリスク選好度が強まったことや、主要先進国において金融政策の正常化観測が高まったことなどから、金利はさらに上昇しました。

○為替相場

投資対象通貨の対円相場は下落 (円高) しました。期首より、北朝鮮の情勢への警戒感が和らぎ市場のリスク回避姿勢が後退したことや、FOMCで2017年内の追加利上げの可能性が示唆されたことなどから、円安傾向となりました。2017年10月から年末にかけては、米ドルはおおむね横ばいで推移しました。また豪ドルやカナダ・ドルは、資源価格や市場のリスク環境に左右されて動く場面も見られましたが、おおむね横ばいにとどまりました。2018年に入ると、米国のムニューシン財務長官による米ドル安容認発言から米ドルが下落しました。また、各国の株価が急落し市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、円は上昇傾向となりました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分 (豪ドル50%、米ドル25%、カナダ・ドル25%) に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。

債券ポートフォリオにつきましては、国債、州債、政府機関債、国際機関債を中心に投資しました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として先進国通貨建ての債券に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	3 (3)
合 計	3

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年 8 月11日から2018年 2 月13日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 5, 053	千アメリカ・ドル 8, 953 (—)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル 5, 070	千カナダ・ドル 5, 232 (—)
		地方債証券	—	2, 690 (—)
国	オーストラリア	特殊債券	1, 577	4, 083 (—)
		国債証券	千オーストラリア・ドル —	千オーストラリア・ドル 1, 115 (—)
		特殊債券	—	9, 814 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年 8 月11日から2018年 2 月13日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 1% 2027/6/1	443, 258	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 2. 75% 2020/4/16	565, 619
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/2/15	421, 995	US Treasury Inflation Indexed Bonds (アメリカ) 0. 25% 2025/1/15	439, 580
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6. 125% 2029/8/15	144, 016	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2021/2/28	339, 587
CANADA HOUSING TRUST (カナダ) 2. 9% 2024/6/15	137, 934	CANADA HOUSING TRUST (カナダ) 2. 4% 2022/12/15	313, 634
		EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6. 5% 2019/8/7	282, 010
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 25% 2025/6/1	179, 667
		United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2. 75% 2024/2/15	176, 284
		ONTARIO PROVINCE (カナダ) 4% 2021/6/2	142, 812
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 3. 25% 2021/6/1	140, 132
		CANADIAN GOVERNMENT BOND (カナダ) 2. 75% 2022/6/1	138, 591

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券先進国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期		当 期			末			
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 29,300	千アメリカ・ドル 29,253	千円 3,180,781	% 23.3	% —	% 15.2	% 5.3	% 2.8
カナダ	千カナダ・ドル 36,000	千カナダ・ドル 35,932	3,103,139	22.7	—	12.2	10.5	—
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 74,360	千オーストラリア・ドル 79,492	6,788,625	49.8	—	22.9	26.9	—
合計	—	—	13,072,546	95.8	—	50.3	42.7	2.8

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

		当 期			末			
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
アメリカ		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500%	千アメリカ・ドル 2,500	千アメリカ・ドル 2,508	千円 272,757	2024/02/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	3,500	3,481	378,560	2019/02/28
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	5,500	5,448	592,405	2021/02/28
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.1250	1,000	1,316	143,107	2029/08/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	3,800	3,613	392,899	2025/02/15
		United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	2,000	1,762	191,601	2046/02/15
		BELGIUM GOVERNMENT BOND	国債証券	2.8750	10,000	9,898	1,076,285	2024/09/18
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	7.6250	1,000	1,224	133,163	2023/01/19
通貨小計	銘柄数	8銘柄						
	金 額			29,300	29,253	3,180,781		
カナダ		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	2.2500	千カナダ・ドル 2,000	千カナダ・ドル 1,998	172,626	2025/06/01
		CANADIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	1.0000	5,500	4,888	422,185	2027/06/01
		Province of Quebec Canada	地方債証券	4.2500	3,000	3,211	277,371	2021/12/01
		ONTARIO PROVINCE	地方債証券	3.5000	7,500	7,862	678,970	2024/06/02
		BRITISH COLUMBIA	地方債証券	2.8500	3,000	3,024	261,209	2025/06/18
		CPPIB Capital Inc	特殊債券	1.4000	7,500	7,393	638,535	2020/06/04
		CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.4000	6,000	6,015	519,533	2022/12/15
		CANADA HOUSING TRUST	特殊債券	2.9000	1,500	1,536	132,707	2024/06/15
通貨小計	銘柄数	8銘柄						
	金 額			36,000	35,932	3,103,139		

		当 期			末			
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
オーストラリア		AUSTRALIAN GOVERNMENT BOND	国債証券	4.2500	千オーストラリア・ドル 3,000	千オーストラリア・ドル 3,316	千円 283,221	2026/04/21
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	4.2500	10,000	10,659	910,304	2023/01/24
		LANDWIRTSCHAFT RENTENBANK	特殊債券	2.7000	3,000	2,992	255,569	2022/09/05
		KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.5000	5,000	5,533	472,569	2022/02/09
		Airservices Australia	特殊債券	2.7500	2,860	2,830	241,740	2023/05/15
		WESTERN AUSTRALIAN TREASURY CORP.	特殊債券	7.0000	2,000	2,300	196,478	2021/07/15
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	5.7500	14,000	16,330	1,394,631	2024/07/22
		QUEENSLAND TREASURY CORP.	特殊債券	3.2500	14,000	14,056	1,200,406	2026/07/21
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	2.8000	5,500	5,557	474,580	2021/01/13
		INTL. FIN. CORP.	特殊債券	5.7500	5,000	5,413	462,274	2020/07/28
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	2.8000	5,000	5,051	431,427	2021/01/15
		ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	5.0000	5,000	5,449	465,421	2022/03/09
通貨小計	銘柄数	12銘柄						
	金 額				74,360	79,492	6,788,625	
合 計	銘柄数	28銘柄						
	金 額						13,072,546	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年 2月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,072,546	95.7
コール・ローン等、その他	589,367	4.3
投資信託財産総額	13,661,914	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.73円、1カナダ・ドル＝86.36円、1オーストラリア・ドル＝85.40円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (13,465,690千円) の投資信託財産総額 (13,661,914千円) に対する比率は、98.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年 2月13日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	15,116,744,986円
コール・ローン等	336,379,925
公社債 (評価額)	13,072,546,983
未収入金	1,475,655,944
未収利息	74,628,549
前払費用	4,838,041
差入委託証拠金	152,695,544
(B)負債	1,471,605,000
未払金	1,471,605,000
(C)純資産総額 (A－B)	13,645,139,986
元本	8,187,884,022
次期繰越損益金	5,457,255,964
(D)受益権総口数	8,187,884,022口
1万口当り基準価額 (C／D)	16,665円

* 期首における元本額は9,423,618,033円、当期中における追加設定元本額は720,242円、同解約元本額は1,236,454,253円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型)－ダイワスピリット－8,166,841,944円、ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型)－ダイワスピリット (年1回)－21,042,078円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は16,665円です。

■損益の状況

当期 自 2017年 8月11日 至 2018年 2月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	233,366,847円
受取利息	233,276,102
その他収益金	110,042
支払利息	△ 19,297
(B) 有価証券売買損益	△ 414,584,907
売買益	233,114,508
売買損	△ 647,699,415
(C) その他費用	△ 2,715,311
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 183,933,371
(E) 前期繰越損益金	6,538,876,205
(F) 解約差損益金	△ 898,209,145
(G) 追加信託差損益金	522,275
(H) 合計 (D + E + F + G)	5,457,255,964
次期繰越損益金 (H)	5,457,255,964

- (注 1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

運用報告書 第18期 (決算日 2018年2月13日)

(計算期間 2017年8月11日～2018年2月13日)

ダイワ外国債券新興国マザーファンドの第18期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	①主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②各国の債券および為替市場の流動性、信用力、市場規模、金利水準等を勘案し、長期的な視点で新興国通貨の中から3通貨を選定し、基準となる通貨の配分（以下「基本通貨配分」といいます。）を定めます。実際の運用にあたっては、基本通貨配分に基づき、金利動向等の状況を考慮して通貨を配分します。 ※投資環境等が著しく変化した場合には、投資対象通貨、通貨数および基本通貨配分を変更する場合があります。 ③投資対象は、各国の国家機関（政府・州等を含みます。）、国際機関およびそれらに準ずると判断される機関等が発行・保証する債券とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

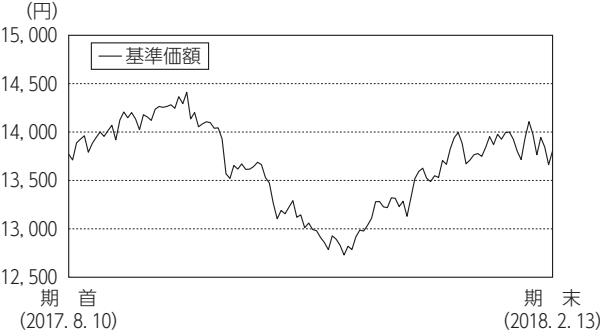
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基 準 価 額		JPMorgan GBI-EM グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公 社 債 債 券 組入比率 先物比率	
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率
(期首) 2017年 8 月10日	円 13,771	% —	円 18,426	% —	% 95.7	% —
8 月末	14,207	3.2	18,832	2.2	96.1	—
9 月末	14,084	2.3	19,096	3.6	97.2	—
10 月末	13,156	△ 4.5	18,743	1.7	96.1	—
11 月末	12,977	△ 5.8	18,847	2.3	95.6	—
12 月末	13,667	△ 0.8	19,340	5.0	97.0	—
2018年 1 月末	13,715	△ 0.4	19,371	5.1	96.7	—
(期末) 2018年 2 月13日	13,805	0.2	19,126	3.8	96.3	—

- (注 1) 騰落率は期首比。
- (注 2) J P モルガン G B I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J P モルガン ガバメント ・ ボンド ・ インデックス - エマージング ・ マーケッツ グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J P モルガン ガバメント ・ ボンド ・ インデックス - エマージング ・ マーケッツ グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) を除きます。
- (注 5) 債券先物比率は買建比率 - 売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
 期首：13,771円 期末：13,805円 騰落率：0.2%
【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額のプラス要因となりましたが、債券価格の下落や投資している通貨が対円で下落したことはマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市況

新興国債券市場では、各国の個別要因が相場を動かす材料となりました。トルコでは、通貨安によるインフレ懸念や欧米との関係悪化が懸念され金利は上昇しました。メキシコでは、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉の進捗が遅れていたことや、最悪の場合は米国が突然NAFTAから離脱する懸念などを背景に、金利は上昇しました。南アフリカでは、中期財政政策声明において、財政赤字や政府債務比率の見通しが悪化したことなどを背景に金利が上昇する局面もありましたが、与党ANC（アフリカ民族会議）の党首選挙で改革派のラマポーザ氏が勝利するとの期待を背景に、金利は低下しました。

○為替相場

新興国通貨の対円為替相場は、北朝鮮の地政学リスクが意識され円高が進展する局面もあったものの、各国の個別要因が相場を左右する材料となりました。トルコ・リラは、欧米との関係悪化などが懸念され対円で下落しました。メキシコ・ペソについては、NAFTA再交渉に対する懸念などを背景に対円で下落しました。南アフリカ・ランドについては、財政悪化懸念で下落する局面があったものの、改革派とみられるラマポーザ氏が与党党首選挙で勝利するとの思惑から対円で上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

主として、新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。通貨配分につきましては、基本通貨配分（メキシコ・ペソ33.3%、トルコ・リラ33.3%、南アフリカ・ランド33.3%）に基づき、金利動向等の状況を考慮して、それぞれの通貨配分を基本通貨配分から±15%程度の範囲内で変動させました。債券ポートフォリオにつきましては、自国通貨建ての国債で運用を行ないました。ポートフォリオの修正デュレーションについては、各国の政策金利の見通し、金融市場の動向、経済のファンダメンタルズを勘案しつつ、柔軟に変化させました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

主として新興国通貨建ての債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。通貨の配分や債券ポートフォリオの修正デュレーションにつきましては、各国の見通しや金融市場動向、経済ファンダメンタルズなどに応じて柔軟に変化させます。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(1)
合 計	5

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2017年 8 月 11 日から 2018 年 2 月 13 日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	トルコ	国債証券	千トルコ・リラ 18, 559	千トルコ・リラ 30, 044 (—)
		特殊債券	—	(— 8, 190)
	メキシコ	国債証券	千メキシコ・ペソ —	千メキシコ・ペソ 167, 610 (—)
		特殊債券	85, 861	(— —)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカ・ランド 112, 001	千南アフリカ・ランド 155, 711 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2017年 8 月 11 日から 2018 年 2 月 13 日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	525, 851	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8. 75% 2048/2/28	829, 077
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 6. 25% 2036/3/31	394, 003	Mexican Bonos (メキシコ) 4. 75% 2018/6/14	689, 355
Turkey Government Bond (トルコ) 10. 4% 2019/3/27	376, 067	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8% 2018/12/21	586, 360
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 5. 25% 2019/10/17	333, 592	Turkey Government Bond (トルコ) 11% 2027/2/24	561, 939
Turkey Government Bond (トルコ) 10. 7% 2021/2/17	191, 124	Turkey Government Bond (トルコ) 10. 4% 2019/3/27	167, 497
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 6% 2022/7/25	107, 706	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2024/12/5	147, 376
INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4% 2018/8/16	56, 108	Mexican Bonos (メキシコ) 8. 5% 2018/12/13	125, 084
REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8. 75% 2044/1/31	38, 001	Turkey Government Bond (トルコ) 7. 1% 2023/3/8	70, 261
		Turkey Government Bond (トルコ) 8. 8% 2018/11/14	55, 766
		Mexican Bonos (メキシコ) 7. 75% 2031/5/29	28, 974

(注 1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注 2) 単位未満は切捨て。

ダイワ外国債券新興国マザーファンド

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちＢＢ格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
トルコ	千トルコ・リラ 199,900	千トルコ・リラ 185,456	千円 5,309,608	% 31.2	% —	% 22.8	% 1.0	% 7.4
メキシコ	千メキシコ・ペソ 1,085,000	千メキシコ・ペソ 1,067,213	6,232,524	36.7	—	19.1	12.2	5.4
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 580,000	千南アフリカ・ランド 530,490	4,832,770	28.4	—	27.6	—	0.8
合計	—	—	16,374,902	96.3	—	69.5	13.2	13.7

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
					外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
					千トルコ・リラ	千円	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	7.1000	千トルコ・リラ 2,000	千トルコ・リラ 1,644	47,067	2023/03/08
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	20,000	17,580	503,321	2023/09/27
	Turkey Government Bond	国債証券	8.8000	18,000	17,523	501,683	2018/11/14
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	7,000	6,847	196,051	2019/03/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	40,000	37,760	1,081,080	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	8.0000	32,900	27,093	775,676	2025/03/12
	Turkey Government Bond	国債証券	10.7000	6,000	5,733	164,137	2021/02/17
	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	30,000	28,350	811,669	2026/02/11
	Turkey Government Bond	国債証券	11.0000	24,000	23,124	662,046	2027/02/24
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.7500	20,000	19,800	566,874	2018/04/03
通貨小計	銘柄数	10銘柄					
	金 額			199,900	185,456	5,309,608	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	千メキシコ・ペソ 45,000	千メキシコ・ペソ 50,593	295,468	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	75,000	90,645	529,366	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	60,000	60,390	352,677	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	100,000	96,684	564,634	2021/06/10
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	15,000	14,928	87,179	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	6.5000	50,000	47,894	279,700	2022/06/09
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	270,000	265,599	1,551,098	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	30,000	29,716	173,544	2018/06/14
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	200,000	191,962	1,121,058	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	150,000	133,053	777,029	2024/09/12
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	5.2500	60,000	57,529	335,974	2019/10/17
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	4.0000	10,000	9,826	57,383	2018/08/16
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	6.0000	20,000	18,391	107,408	2022/07/25
通貨小計	銘柄数	13銘柄					
	金 額			1,085,000	1,067,213	6,232,524	

区 分		当 期			末		
		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額	
						外 貨 建 金 額	邦貨換算金額
南アフリカ		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000%	千南アフリカ・ランド120,000	千南アフリカ・ランド135,660	千円1,235,862
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.2500	110,000	81,211	739,840
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	6.5000	40,000	29,086	264,980
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	7.0000	50,000	42,547	387,603
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	80,000	74,484	678,549
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.5000	160,000	147,667	1,345,248
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.7500	5,000	4,650	42,368
		EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	15,000	15,183	138,317
通貨小計	銘柄数	8銘柄					
	金 額				580,000	530,490	4,832,770
合 計	銘柄数	31銘柄					
	金 額						16,374,902

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年 2月13日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	16,374,902	96.3
コール・ローン等、その他	635,457	3.7
投資信託財産総額	17,010,360	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月13日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝108.73円、1トルコ・リラ＝28.63円、1メキシコ・ペソ＝5.84円、1南アフリカ・ランド＝9.11円です。
(注 3) 当期末における外貨建純資産 (16,833,693千円) の投資信託財産総額 (17,010,360千円) に対する比率は、99.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年 2月13日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	17,114,405,330円
コール・ローン等	201,834,260
公社債 (評価額)	16,374,902,632
未収入金	104,510,000
未収利息	410,465,379
前払費用	22,693,059
(B)負債	115,326,757
未払金	104,394,641
未払解約金	10,932,116
(C)純資産総額 (A－B)	16,999,078,573
元本	12,313,648,520
次期繰越損益金	4,685,430,053
(D)受益権総口数	12,313,648,520口
1万口当り基準価額 (C／D)	13,805円

* 期首における元本額は14,163,147,441円、当期中における追加設定元本額は1,347,754円、同解約元本額は1,850,846,675円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ外国債券ファンド (毎月分配型)－ダイワスピリット－12,281,661,488円、ダイワ外国債券ファンド (年1回決算型)－ダイワスピリット (年1回)－31,987,032円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,805円です。

■損益の状況

当期 自 2017年8月11日 至 2018年2月13日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	789,575,143円
受取利息	789,616,265
支払利息	△ 41,122
(B) 有価証券売買損益	△ 745,245,510
売買益	730,349,256
売買損	△ 1,475,594,766
(C) その他費用	△ 7,212,847
(D) 当期損益金 (A + B + C)	37,116,786
(E) 前期繰越損益金	5,340,760,448
(F) 解約差損益金	△ 692,975,980
(G) 追加信託差損益金	528,799
(H) 合計 (D + E + F + G)	4,685,430,053
次期繰越損益金 (H)	4,685,430,053

- (注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。